

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000001
開設科目名	特別研究			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	篠原 厚			区分	
授業の概要					
博士論文執筆に必要な資料解析能力を養うことを中心に進め、同時に随時研究報告を求めていく。					
授業の一般目標					
論文執筆への意欲を高め、動機付けを図る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告内容で評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
koketsu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
Wed.10:00-12:00					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000002
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	阿部 泰記			区分	
授業の概要					
受講者が選定した研究テーマに関する研究方法を学習する。					
授業の一般目標					
1.文学による思想の表現を理解する。 2.文学の主題を考察する。 3.文学の現代的意義を考察する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.文学の代表的な作品を知る。 2.文学の文体を知る。					
思考・判断の観点: 1.文学の主題を考える。 2.文学の歴史を考える。					
関心・意欲の観点: 1.文学のおもしろさを感じる。 2.文学をすすんで読むようになる。					
態度の観点: 1.文学の読解につとめる。 2.辞書を丹念に調べる。					
技能・表現の観点: 1.流暢な日本語に翻訳できる。 2.中国語と日本語の表現に注意する。					
成績評価方法(総合)					
予習による評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
abey@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000003
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
論文の作成指導					
授業の一般目標					
論文の作成指導					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
論文の内容によって評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000004
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	横田 伸子			区分	
授業の概要					
博士學位論文を作成するための研究指導を行う。					
授業の一般目標					
博士論文を執筆し、完成させる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 先行研究の研究状況を把握し、それぞれの研究の位置づけができる。					
思考・判断の観点: 資料分析や資料批判を客観的かつ正確に行うことができる。					
関心・意欲の観点: 自己の研究の独創性を作り出す。					
態度の観点: 主体的かつ自立的に研究ができる。					
技能・表現の観点: 論文の中で、自己が行った考察や分析を論理的に表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
演習での議論、報告・発表内容を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
e-mail) ynobuko@yamaguchi-u.ac.jp)083 - 933-5559(研究室)					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000005
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	植村 高久			区分	
授業の概要					
各自の課題の内容に従い、毎回進捗状況を報告し、助言を与える。					
授業の一般目標					
学位論文を作成する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000006
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	李 海峰			区分	
授業の概要					
博士論文の報告、応答質疑を通して、論文の改善、完成を指導する。					
授業の一般目標					
研究水準の向上を目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究の態度、先行研究、オリジナル研究など					
教科書					
参考書					
メッセージ					
高水準の博論の完成を目指しましょう。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000007
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
論文指導					
授業の一般目標					
論文指導					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
論文の内容で評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000008
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	福田 隆眞			区分	
授業の概要					
学生の研究テーマに基づいて演習を行う。					
授業の一般目標					
テーマに基づく論文の作成が出来る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
論文作成による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000009
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤原 マリ子			区分	
授業の概要					
各自の研究テーマに即して指導助言を行う。					
授業の一般目標					
1・各自の研究テーマの深化を図る。 2・独自の視点を持ち、学会の研究分野の研究の深化に資することができる。 3・論理的で説得力のある明快な論文を作成することができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 先行文献を博捜し、内容を理解している。					
思考・判断の観点: 問題点や課題を指摘する事ができる。					
関心・意欲の観点: 研究に意欲的に取り組むことができる。					
態度の観点: 独自の観点を提示しようと努力することができる。					
技能・表現の観点: 論理的に明快な論文を書くことが出来る。					
成績評価方法(総合)					
研究の内容により評価する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000067
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	小谷 典子			区分	
授業の概要					
博士論文作成指導					
授業の一般目標					
博士論文の作成					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
平素の成績					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
5236					
オフィスアワー					
月曜日 14時~15時					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000068
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	篠崎 厚			区分	
授業の概要					
博士論文執筆にむけて研究課題に即した研究指導を行う。					
授業の一般目標					
問題の所在、問題の設定など論文執筆の方法と課題について					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告の内容で評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
koketsu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000069
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	湯川 洋司			区分	
授業の概要					
博士論文作成を目指した個別指導					
授業の一般目標					
博士論文作成に向けた研究を具体的に深化させる					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究の発表内容と、研究の進みぐあいを重点にして評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000070
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	辻 正二			区分	
授業の概要					
学位取得のための授業である					
授業の一般目標					
年間を通して博士論文を成果物として提出することが出来るための指導を指導をおこなう。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
毎回の発表と期末レポートの総合判定で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000071
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	植村 高久			区分	
授業の概要					
各自の課題の内容に従い、毎回進捗状況を報告し、助言を与える。					
授業の一般目標					
学位論文を作成する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000072
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
論文指導					
授業の一般目標					
論文指導					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
論文の内容により評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000073
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	立山 紘毅			区分	
授業の概要					
学位論文執筆へ向けて受講者と協議の上、内容を決定する。					
授業の一般目標					
博士の学位にふさわしい知識と論理的思考能力を涵養する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席およびその姿勢を基本として評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
tateyama@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
特に定めていないので、上記のメールアドレスで連絡して適宜面談可。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000074
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	石田 成則			区分	
授業の概要					
博士論文作成のための技法を学び、あわせて中間報告を行う。					
授業の一般目標					
博士論文作成上のマナーや効果的なプレゼンについて学ぶ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 博士論文のテーマ					
技能・表現の観点: プレゼンの手法					
成績評価方法(総合)					
博士論文とその中間報告					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000075
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	尹 春志			区分	
授業の概要					
各自の論文のテーマに則した発表と討論を行なう。					
授業の一般目標					
論文の作成。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告内容で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000076
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	塚田 広人			区分	
授業の概要					
<p>本演習では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 博士論文執筆に向けた研究方法の指導 2 院生の報告とそれに関する議論 <p>の二つを行う。</p>					
授業の一般目標					
院生が博士論文の執筆方法を理解し、研究を進める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と報告により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>933 - 5558 ht@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>A 棟 424 号室</p>					
オフィスアワー					
原則として水曜日 1 時半～3 時 (在室時はそれ以外でも可)					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000077
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	李 海峰			区分	
授業の概要					
博士論文の報告、応答質疑を通して、論文の改善、完成を指導する。					
授業の一般目標					
研究水準の向上を目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
論文の理論、方法					
教科書					
参考書					
メッセージ					
高水準の研究論文を目指しましょう。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000078
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	野村 淳一			区分	
授業の概要					
<p>博士論文作成のための準備をします。</p> <p>査読論文を1本完成させることが目標です。</p> <p>博士論文の構成を検討したり、必要となる研究手法の習得をします。</p> <p>毎回、準備状況を報告してもらいます。</p>					
授業の一般目標					
<p>査読論文の作成。</p> <p>博士論文の構成の検討。</p> <p>研究手法の習得。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 博士論文に必要な理論や統計学手法を理解している。</p> <p>思考・判断の観点: 分析結果を論理的に正しく判断できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 積極的に疑問点を質問する。</p> <p>態度の観点: 報告準備を周到に行う。</p> <p>技能・表現の観点: 発表のポイントを効率的に伝える。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>演習中の報告内容。</p> <p>作成論文の内容。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000079
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	福田 隆真			区分	
授業の概要					
論文作成を行う。レフリー付き学会誌への投稿が望ましい。					
授業の一般目標					
テーマに合った問題が論述できる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000080
開設科目名	特別研究			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	葛 崎偉			区分	
授業の概要					
博士課程における研究テーマに関わる諸課題を解決するための研究を行う。					
授業の一般目標					
博士課程における研究テーマに関わる諸課題の解決手法を見つける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
課題研究の過程と成果による総合評価 = 100%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000081
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤原 マリ子			区分	
授業の概要					
各自のテーマに即した支援を行い、各自の研究テーマの深化を図る。					
授業の一般目標					
1・先行研究に学びつつ、各自の研究を深化させる。					
2・独自の視点を持ち、研究分野の今後の発展に資することができる。					
3・論理的に明快な論文を作成することができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 先行文献を精読し、理解している。					
思考・判断の観点: 先行研究における問題点や課題を指摘することができる。					
関心・意欲の観点: 研究に対して強い関心と意欲を持ち、積極的に研究活動に取り組むことができる。					
態度の観点: 先行文献を読んだ上で、独自の視点を提示しようと努力することができる。					
技能・表現の観点: 論理的に明快な論文をまとめることができる。					
成績評価方法(総合)					
授業における発表内容により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000082
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	西村 正登			区分	
授業の概要					
<p>博士論文を作成するために、研究テーマを設定し、文献調査を行い、論文構成を立てる。</p> <p>その後、受講生は毎時間レジュメをまとめて研究発表しながら論文を執筆していく。特別研究では、そのための指導助言を行う。</p>					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 博士論文の研究テーマを設定することができる。 2. 博士論文作成のための文献調査を行うことができる。 3. 博士論文の構成を立てることができる。 4. レジュメをまとめ、研究発表しながら博士論文を執筆することができる。 					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 1. 教育哲学の専門用語を説明できる。</p> <p>思考・判断の観点: 1. 部分と全体との関係を考えながら論文を構成することができる。</p> <p>関心・意欲の観点: 1. 必要な文献を自主的に調査し、研究テーマを探求しようとする関心や意欲を高めることができる。</p> <p>態度の観点: 1. 必要な文献を自主的に調査し、研究テーマを探求しようとする態度を形成することができる。</p> <p>技能・表現の観点: 1. レジュメをまとめて発表する技能や表現力を養うことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 論文を論理的に筋道を立てて執筆することができる。 					
成績評価方法(総合)					
博士論文の構成と内容により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
研究発表しながら、博士論文作成のための指導助言を行います。					
連絡先					
<p>教育学部・教育哲学研究室</p> <p>内線: 5450</p> <p>メールアドレス: masaton@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					
金曜日 12時～12時50分					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5031000083
開設科目名	特別研究			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	名島 潤慈			区分	
授業の概要					
博士論文を作成するための指導を行う。					
授業の一般目標					
院生が博士論文を作成していく場合の基本的な考え方や方法といったものを院生が会得できるようにする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
院生が発表する報告と出席から評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
najima@yamaguchi-u.ac.jp 083-933-5465					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000001
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	篠崎 厚			区分	
授業の概要					
博士論文執筆に関連する資料読解の方法と論文叙述方法の指導を中心とし、個別報告をも課していく。					
授業の一般目標					
「自立した研究者とは、どうあるべきか」を念頭に据え、解析し議論できる能力を養う。					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 研究者としての自立し、自由な発想ができ、客観的な考察をなすことを基本とするスタンスを身につける。					
成績評価方法(総合)					
報告内容と論文内容で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
koketsu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
Wed.AM10:00-12:00					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000002
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	阿部 泰記			区分	
授業の概要					
受講者が選定した研究テーマに関する研究方法を学習する。					
授業の一般目標					
1.文学による思想の表現を理解する。 2.文学の主題を考察する。 3.文学の現代的意義を考察する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.文学の代表的な作品を知る。 2.文学の文体を知る。					
思考・判断の観点: 1.文学の主題を考える。 2.文学の歴史を考える。					
関心・意欲の観点: 1.文学のおもしろさを感じる。 2.文学をすすんで読むようになる。					
態度の観点: 1.文学の読解につとめる。 2.辞書を丹念に調べる。					
技能・表現の観点: 1.流暢な日本語に翻訳できる。 2.中国語と日本語の表現に注意する。					
成績評価方法(総合)					
予習による評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
abey@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000003
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
論文指導					
授業の一般目標					
論文指導					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
論文の内容で評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000004
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	横田 伸子			区分	
授業の概要					
博士學位論文を作成するための研究指導を行う。					
授業の一般目標					
博士論文を執筆し、完成させる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 先行研究の研究状況を把握し、それぞれの研究の位置づけができる。					
思考・判断の観点: 資料分析や資料批判を客観的かつ正確に行うことができる。					
関心・意欲の観点: 自己の研究の独創性を作り出す。					
態度の観点: 主体的かつ自立的に研究ができる。					
技能・表現の観点: 論文の中で、自己が行った考察や分析を論理的に表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
演習での議論、報告・発表内容を総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
e-mail) ynobuko@yamaguchi-u.ac.jp)083 - 933-5559(研究室)					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000005
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	植村 高久			区分	
授業の概要					
各自の課題の内容に従い、毎回進捗状況を報告し、助言を与える。					
授業の一般目標					
学位論文を作成する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000006
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	李 海峰			区分	
授業の概要					
1 研究論文の作成、理論の構築、方法論の応用を中心に検討する、 2 博士論文の報告、応答質疑を通して、論文の改善、完成を指導する。					
授業の一般目標					
研究水準の向上を目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業態度・授業への参加度 受講者の発表(プレゼン)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
研究室にいる時、いつでもよろしい					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000007
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
論文指導					
授業の一般目標					
論文指導					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
論文の内容で評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000008
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	福田 隆眞			区分	
授業の概要					
論文作成を行う。レフリー付き学会誌へ投稿する。					
授業の一般目標					
論文作成、投稿により掲載される。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000009
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤原 マリ子			区分	
授業の概要					
各自の延久テーマに基づき、指導助言を行う。					
授業の一般目標					
1・各自の研究テーマの深化を図る。 2・独自の視点を持ち、学会の研究分野の研究の深化に資することができる。 3・論理的で説得力のある明快な論文を作成することができる					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 先行文献を理解している。					
思考・判断の観点: 問題点や今後の課題を指摘できる。					
関心・意欲の観点: 研究に意欲的に取り組むことができる。					
態度の観点: 独自の観点を提示しようと努力することができる。					
技能・表現の観点: 論理的で明快な論文を書くことができる。					
成績評価方法(総合)					
授業で発表する内容により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000010
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	小谷 典子			区分	
授業の概要					
博士論文作成指導					
授業の一般目標					
博士論文の作成					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
平素の成績					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
5236					
オフィスアワー					
月曜日 14時~15時					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000011
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	篠原 厚			区分	
授業の概要					
博士論文の執筆に向けての叙述方法の指導及び報告発表の練習など。					
授業の一般目標					
自立した論文作成					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告内容と論文内容					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000012
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	湯川 洋司			区分	
授業の概要					
博士論文作成を目指した個別指導					
授業の一般目標					
博士論文作成に向けた研究を具体的に深化させる					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究の発表内容と、研究の進みぐあいを重点にして評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000013
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	辻 正二			区分	
授業の概要					
学位取得のための授業である					
授業の一般目標					
年間を通して博士論文を成果物として提出することが出来るための指導を指導をおこなう。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
毎回の発表と期末レポートの総合判定で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000014
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	植村 高久			区分	
授業の概要					
各自の課題の内容に従い、毎回進捗状況を報告し、助言を与える。					
授業の一般目標					
学位論文を作成する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000015
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
論文指導					
授業の一般目標					
論文指導					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
論文の内容で評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000016
開設科目名	特別研究			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	立山 紘毅			区分	
授業の概要					
学位論文執筆へ向けて受講者と協議の上、内容を決定する。					
授業の一般目標					
博士の学位にふさわしい知識と論理的思考能力を涵養する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席およびその姿勢を基本として評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
tateyama@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
特に定めていないので、上記のメールアドレスで連絡して適宜面談可。					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000017
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	石田 成則			区分	
授業の概要					
前期と同様に、博士論文作成のための準備と中間報告を行う。					
授業の一般目標					
前期と同じ。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 前期と同じ。					
思考・判断の観点: 前期と同じ。					
成績評価方法(総合)					
博士論文の中間報告					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000018
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	尹 春志			区分	
授業の概要					
各自の研究テーマに則した報告と討論を行なう。					
授業の一般目標					
論文の作成。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究報告内容で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000019
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	塚田 広人			区分	
授業の概要					
<p>本演習では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 博士論文執筆に向けた研究方法の指導 2 院生の報告とそれに関する議論 <p>の二つを行う。</p>					
授業の一般目標					
院生が博士論文の執筆方法を理解し、研究を進める。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と報告により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>933 - 5558 ht@yamaguchi-u.ac.jp</p> <p>A 棟 424 号室</p>					
オフィスアワー					
原則として水曜日 1 時半～3 時 (在室時はそれ以外でも可)					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000020
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	李 海峰			区分	
授業の概要					
博士論文の報告、応答質疑を通して、論文の改善、完成を指導する。					
授業の一般目標					
研究水準の向上を目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業態度・授業への参加度、受講者の発表(プレゼン)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000021
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	野村 淳一			区分	
授業の概要					
<p>博士論文作成のための準備をします。</p> <p>査読論文を1本完成させることが目標です。</p> <p>博士論文の構成を検討したり、必要となる研究手法の習得をします。</p> <p>毎回、準備状況を報告してもらいます。</p>					
授業の一般目標					
<p>査読論文の作成。</p> <p>博士論文の構成の検討。</p> <p>研究手法の習得。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 博士論文に必要な理論や統計学手法を理解している。</p> <p>思考・判断の観点: 分析結果を論理的に正しく判断できる。</p> <p>関心・意欲の観点: 積極的に疑問点を質問する。</p> <p>態度の観点: 報告準備を周到に行う。</p> <p>技能・表現の観点: 発表のポイントを効率的に伝える。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>演習中の報告内容。</p> <p>作成論文の内容。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000022
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	福田 隆眞			区分	
授業の概要					
論文作成を行う。					
授業の一般目標					
論文作成し、レフリー付き学会誌に投稿する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000023
開設科目名	特別研究			単位	1 単位
対象学生				学年	~
担当教員	葛 崎偉			区分	
授業の概要					
博士課程における研究テーマに関わる諸課題を解決するための研究を行う。					
授業の一般目標					
博士課程における研究テーマに関わる諸課題の解決手法を見つける。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
課題研究の過程と成果による総合評価 = 100%					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000024
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤原 マリ子			区分	
授業の概要					
各自の研究テーマに即して支援を行い、各自の研究テーマの深化を図る。					
授業の一般目標					
1・先行研究に学びつつ、各自の研究テーマの深化を図る。					
2・独自の視点を持ち、研究が研究分野の発展に資することができる。					
3・論理的に明快な論文にまとめることができる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 先行文献を精読し、理解している。					
思考・判断の観点: 先行文献を読んだ上で、問題点や課題を指摘することができる。					
関心・意欲の観点: 研究に対して強い関心を持ち、研究に意欲的に取り組むことができる。					
態度の観点: 先行文献を読んだ上で、独自の観点を提示しようと努める。					
技能・表現の観点: 論理的に明快な文章を書くことができる。					
成績評価方法(総合)					
研究内容・発表内容により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000025
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	西村 正登			区分	
授業の概要					
<p>博士論文を作成するために、研究テーマを設定し、文献調査を行い、論文構成を立てる。</p> <p>その後、受講生は毎時間レジュメをまとめて研究発表しながら論文を執筆していく。特別研究では、そのための指導助言を行う。</p>					
授業の一般目標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 博士論文の研究テーマを設定することができる。 2. 博士論文作成のための文献調査を行うことができる。 3. 博士論文の構成を立てることができる。 4. レジュメをまとめ、研究発表しながら博士論文を執筆することができる。 					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 1. 教育哲学の専門用語を説明できる。</p> <p>思考・判断の観点: 1. 部分と全体との関係を考えながら論文を構成することができる。</p> <p>関心・意欲の観点: 1. 必要な文献を自主的に調査し、研究テーマを探求しようとする関心や意欲を高めることができる。</p> <p>態度の観点: 1. 必要な文献を自主的に調査し、研究テーマを探求しようとする態度を形成することができる</p> <p>技能・表現の観点: 1. レジュメをまとめて発表する技能や表現力を養うことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 論文を論理的に筋道を立てて執筆することができる。 					
成績評価方法(総合)					
博士論文の構成と内容により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
研究発表しながら、博士論文作成のための指導助言を行います。					
連絡先					
<p>教育学部・教育哲学研究室</p> <p>内線: 5450</p> <p>メールアドレス: masaton@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					
金曜日 12時～12時50分					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000026
開設科目名	特別研究			単位	1単位
対象学生				学年	~
担当教員	名島 潤慈			区分	
授業の概要					
博士論文を作成するための指導を行う。					
授業の一般目標					
院生が博士論文を作成していく場合の基本的な考え方や方法といったものを院生が会得できるようにする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業における報告と出席から評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
najima@yamaguchi-u.ac.jp 083-933-5465					
オフィスアワー					

開設期	後期	曜日時限	未定	時間割コード	5032000027
開設科目名	コミュニケーション英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	池園 宏			区分	
授業の概要					
英語によるコミュニケーション能力を養成する。授業は全て英語で行う。基本的にはテキストのタスクを中心に授業を進めるが、受講者のレベルやニーズに応じて臨機応変に内容を変更・調整することもある。					
授業の一般目標					
(1)英語の四技能をバランス良く習得する。 (2)母国語を介さず、英語で理解し、考え、発言する姿勢を体得する。 (3)基本的な会話表現や文法事項を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: (1)提示された課題を理解し、自己の考えを英語で説明できる。 (2)英語の文法事項が理解できる。					
思考・判断の観点: (1)的確な状況判断に基づいて、諸場面に即した英語表現を選択できる。					
関心・意欲の観点: (1)英語で積極的に自己表現することに関心を持つ。					
態度の観点: (1)常に問題意識を持ってディスカッションに参加できる。					
成績評価方法(総合)					
(1)試験は期末に一回実施する。 (2)出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
Passages 2 / ,Jack C. Richards & Chuck Sandy: Cambridge UP , 2000					
参考書					
メッセージ					
単位取得を前提条件として受講を許可する。受講者は無断で欠席や遅刻をしないこと。					
連絡先					
メール: ikezono@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 人文学部6階					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	未定	時間割コード	5033000048
開設科目名	比較文化基盤演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	阿部 泰記			区分	
授業の概要					
学位論文執筆のための演習を行う。					
授業の一般目標					
1. 思考力を養う。 2. 論文執筆の能力を養う。					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 論理的な思考方法を養う。 技能・表現の観点: 1. テーマについて論理的に、明解に説明する能力を養う。 2. 研究の目的について説明する能力を養う。					
成績評価方法(総合)					
研究発表に対する指導をしながら、その進展を評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
abey@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	未定	時間割コード	5033000049
開設科目名	社会動向理解基盤演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	植村 高久			区分	
授業の概要					
<p>多人数教員が参加する演習であり、論文作法や報告の仕方を中心に学ぶ。</p>					
授業の一般目標					
<p>アカデミックな文献を自力で作成できる。</p>					
授業の到達目標					
<p>技能・表現の観点:論文の課題・目的を適切に表現でき、それに対応した論理の展開ができる。 自説と区別して、適切な引用の仕方ができる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>演習の成果による。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	未定	時間割コード	5033000050
開設科目名	教育開発基盤演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	森下 徹			区分	
授業の概要					
各自の論文テーマに沿ったレポート、概要、論文の試作を行い、発表、講評を行う。					
授業の一般目標					
博士論文執筆をめざした研究テーマについての考察を深めること。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
毎回の報告内容と、討論への参加状況による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	未定	時間割コード	5033000051
開設科目名	東アジア文化論プロジェクト演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	高木 智見			区分	
授業の概要					
受講学生全員の研究しているテーマをもとに、共通のプロジェクトを設定して、毎回担当する学生がそれに沿った報告を行う。そのご複数の教員と複数の学生が、相互に多角的な議論を行い、考察を深めていく。要するに、互いに専門を異にする研究者が、一つのテーマについて議論を重ね相互に啓発しあうことによって、問題の把握力、分析力、思考力、構想力などを獲得することを目指す。					
授業の一般目標					
研究者としての基礎的能力の向上					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 専門の研究分野はもとより、他の研究分野に関しても、独自の理解を行い、自己の見解をもてる。					
思考・判断の観点: 様々な研究方法や学問分野についても、自分自身の立場から理解できるようにする。					
関心・意欲の観点: 他の研究分野のことについても、研究者としての観点から興味を持ち、理解しようとする。					
態度の観点: 自分の意見を明確にして、議論に参加できる					
技能・表現の観点: 自己の観点と他者の観pointsの違いを理解した上で、自己の意見を表現できる					
成績評価方法(総合)					
毎時間の報告、ならびに議論参加の状況、最後のレポートを総合的に判断する					
教科書					
参考書					
メッセージ					
地道な努力と積極的な姿勢が求められる					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	未定	時間割コード	5033000052
開設科目名	社会動態分析プロジェクト演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	成富 敬			区分	
授業の概要					
博士論文作成のための集団指導体制による演習をおこなう。					
授業の一般目標					
博士論文作成へ向けて精力的に研究をすすめ、演習での議論をとおして、研究の深化を図る。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
演習状況を判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	通年	曜日時限	未定	時間割コード	5033000053
開設科目名	教育開発プロジェクト演習			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	葛 崎偉			区分	
授業の概要					
アジアの教育に関する現代的課題を取り上げ、各自のテーマに沿って論文形式で発表、講評を行う。					
授業の一般目標					
研究がさらに進むことができ、より質の高い論文の作成ができることを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
各自のテーマに沿って準備したレジュメおよびその発表で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000001
開設科目名	比較地域社会論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	小谷 典子			区分	
授業の概要					
戦後日本の地域社会の変動に関する、実証的比較分析を行う					
授業の一般目標					
現代日本の地域社会の社会学的現状分析ができるようになることをめざす					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
期末試験による評価					
教科書					
流動型社会の研究 / 三浦典子: 恒星社厚生閣, 1991					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
5236					
オフィスアワー					
月曜日 14時 15時					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000002
開設科目名	比較社会意識論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	辻 正二			区分	
授業の概要					
比較社会意識論の特別講義として、社会意識分析の理論と方法論を学び、さらに地域間、国家間の比較社会的視点の必要性を学ぶ。					
授業の一般目標					
(1)社会意識分析の理論と方法論を学ぶ。					
(2)地域間、国家間の比較社会的視点の必要性を学ぶ。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000003
開設科目名	日本近世社会論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	田中 誠二			区分	
授業の概要					
藩財政の具体的分析のなかから、日本近世社会論を展開する。					
授業の一般目標					
日本近世社会の普遍性と固有性を、藩財政の具体的分析を通して解明する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
定期試験にかえてレポートを提出し、その内容によって成績評価を行う。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
月曜日と金曜日の昼休み。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000004
開設科目名	日本古代文学論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	森野 正弘			区分	
授業の概要					
日本文学史において中古と区分される平安時代の文学作品の中から、『源氏物語』を取り上げ、研究史のうえで問題とされてきた諸事項について検討を加える。					
授業の一般目標					
日本中古文学の研究を進めていくうえで必要な知識の習得、及び理解力・分析力・論理的思考力を養成する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 中古文学作品に書かれた内容を正確に読み取るための知識を得ることができる。					
思考・判断の観点: 中古文学作品に書かれた内容や研究論文を通じて多面的な物の見方・考え方ができるようになる。					
成績評価方法(総合)					
期末試験による。					
教科書					
参考書					
新編日本古典文学全集『源氏物語』(全6冊)/阿部陞生ほか:小学館,1995					
源氏物語事典/林田孝和ほか:大和書房,2002					
源氏物語の鑑賞と基礎知識(全43冊)/鈴木一雄・監修:至文堂,1998					
人物で読む源氏物語(全20冊)/上原作和・編集:勉誠出版,2005					
角川文庫ソフィア『源氏物語・付現代語訳』(全10冊)/玉上琢彌:角川書店,1998					
メッセージ					
出席状況80%未満の者は欠格とします。					
連絡先					
morino@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
水曜日5・6時限					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000005
開設科目名	日本近代文学論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	平野 芳信			区分	
授業の概要					
村上春樹の『神の子どもたちはみな踊る』について講述します。					
授業の一般目標					
『神の子どもたちはみな踊る』は作者村上春樹にとって初めての連作短編集であると同時に、日本という国の安全神話が曲がり角に差し掛かったことを象徴的に物語る出来事を背景にして成立しています。これらの問題について考えたいと思います。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
宿題・授業外レポート 80%					
授業態度・授業への参加度 20%					
出席 欠格条件					
教科書					
参考書					
メッセージ					
講義日誌という予習復習のための記録を作成していただきますので、ノートを一冊準備しておいてください。					
連絡先					
オフィスアワー					
追って指示します。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000006
開設科目名	日本民俗文化論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	湯川 洋司			区分	
授業の概要					
日本の村落生活の仕組みと運営、性格について、民俗を手がかりにして捉え、その現代的変容の意味を考える					
授業の一般目標					
日本における村落生活の歴史と実態を踏まえて、その現代的変容の意味について説明できる					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業への取組状況と授業終了時に作成するレポートの評価による					
教科書					
日本の民俗6 村の暮らし / 湯川洋司・市川秀之・和田健・吉川弘文館, 2008					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
yukawa@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000007
開設科目名	中国民衆文化論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	阿部 泰記			区分	
授業の概要					
中国の物語文学を読解する。中国の物語は語り物や演劇で上演された。講義では漢川善書という湖北省の文芸を取り上げて、その研究方法を学習する。					
授業の一般目標					
1.物語の媒体となる文学の形式を理解する。 2.物語の主題を考察する。 3.物語の現代的意義を考察する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 1.物語文学の代表的な作品を知る。 2.物語文学の文体を知る。					
思考・判断の観点: 1.物語文学の主題を考える。 2.物語文学の歴史を考える。					
関心・意欲の観点: 1.物語文学のおもしろさを感じる。 2.物語文学をすすんで読むようになる。					
態度の観点: 1.物語文学の読解につとめる。 2.辞書を丹念に調べる。					
技能・表現の観点: 1.流暢な日本語に翻訳できる。 2.中国語と日本語の表現に注意する。					
成績評価方法(総合)					
予習による評価 ノート提出					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
abey@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000008
開設科目名	中国先秦文化論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	高木 智見			区分	
授業の概要					
過去の偉大な研究者の業績を熟読することにより、先秦史研究の理想的な研究方法を追求する。					
授業の一般目標					
研究の着眼点、構想の方法、史料解釈、論理構成など、先人の優れた点を学びとり、さらにその限界をも明確に理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 日本や中国の代表的研究者の方法論、およびその到達点を理解できる。					
思考・判断の観点: 様々な解釈の方法を知り、自らの方法の確立に向けての足がかりとする。					
関心・意欲の観点: 関連する古典研究やその他の学問分野の方法をも参照する。さらに木竹簡など出土史料の活用についても意識する。					
成績評価方法(総合)					
毎回、事前に論文を読了することが求められるが、その達成度とレポートによって判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
すべての基本は着実な積み重ねである。					
連絡先					
人文棟五階高木研究室					
オフィスアワー					
火曜日 16時から17時					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000009
開設科目名	中国近世演劇論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	根ヶ山 徹			区分	
授業の概要					
中国近世の戯曲演劇史について論じる。					
授業の一般目標					
中国近世の戯曲演劇史に関して、基本的知識を得、個々の作品の読解を通じて、理解を深めること。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 中国古典演劇の主要な作品、また特質について説明できる。					
思考・判断の観点: 中国古典演劇の歴史的展開を説明できる。					
関心・意欲の観点: 中国古典演劇を通して、ひろく中国の文化について関心を抱く。					
態度の観点: 授業で紹介した参考文献に目を通す。					
技能・表現の観点: 中国古典演劇の読解が可能になる。					
成績評価方法(総合)					
期末試験の成績により評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000010
開設科目名	現代東アジア論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	篠崎 厚			区分	
授業の概要					
博士論文執筆に必要な先行研究の紹介と検討を行う。					
授業の一般目標					
論文を徹底理解する。					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: 論文を批判的に解析する力					
成績評価方法(総合)					
議論の内容及びレポートで評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000011
開設科目名	東アジア古代宮都論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	橋本 義則			区分	
授業の概要					
<p>律令国家の成立から衰退に至る歴史と歩みをともにした宮都の歴史的展開を明らかにすることを通じ、日本古代律令国家の特質を明らかにする。第二次世界大戦後大きな成果を挙げた宮都の発掘調査で検出された建築遺構、出土文字資料などの遺物を基に具体的な検討を加えるとともに、さらに宮都の制が中国の影響のもと古代から近世の東アジア諸国に広汎に導入された事実を踏まえ、中国をはじめとする東アジア諸国との比較史的観点からも検討を試みる。</p>					
授業の一般目標					
<p>律令国家の成立から衰退に至る歴史と歩みをともにした宮都の歴史的展開を明らかにすることを通じ、日本古代律令国家の特質を明らかにする。第二次世界大戦後大きな成果を挙げた宮都の発掘調査で検出された建築遺構、出土文字資料などの遺物を基に具体的な検討を加えるとともに、さらに宮都の制が中国の影響のもと古代から近世の東アジア諸国に広汎に導入された事実を踏まえ、中国をはじめとする東アジア諸国との比較史的観点からも検討を試みる。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 東アジア諸国における都城について、国毎に概要を説明できる。</p> <p>思考・判断の観点: 東アジア諸国に共通する都城の差異について、国毎の状況を踏まえて考察する能力。特に様々な史料や資料を用いて論理的に解釈する力を身につける。</p> <p>関心・意欲の観点: 東アジア諸国に共通する政治装置としての都城に関心・興味を抱く。</p> <p>態度の観点: 学問上の常識や通説を疑う姿勢を養う。</p> <p>技能・表現の観点: 1,史料・資料を正しく解釈できる。2,正しい日本語(書き言葉)で自分の意見を論理的に表現できる。</p>					
成績評価方法(総合)					
学期末のレポートによる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>本授業では授業時に受講生全員がパソコンを持ち込み、使用することが必須とされる。また毎回の研究報告発表者はあらかじめワープロソフト(ワード)を用いて報告に必要な配布資料を作成し、授業時に教官および受講生全員に資料をワードのファイルで配布することが義務付けられます。また資料の作成に当たってはスキャナーなどの周辺機器の活用も必要とされる。</p>					
連絡先					
y-hasi@yamaguchi-u.ac.jp 研究室:人文学部3階					
オフィスアワー					
時間のあるときはいつでも					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000012
開設科目名	東アジア造形伝承論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	坪郷 英彦			区分	
授業の概要					
日本や東アジア諸民族の住まいや生活用具などの物質文化を取りあげ、重要な論文をテキストとして講義を行います。					
授業の一般目標					
東アジア諸民族の物質文化の理解と研究法の習得。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 様々なものに対する基本的理解と社会経済システムとの関係性の理解					
思考・判断の観点: 物質文化の研究視点からものを見ることができる。					
技能・表現の観点: 論文で論理的に表現できる能力、発表など人にアピールする能力を持つ。					
成績評価方法(総合)					
論文が書けるか、又は学会発表ができるかで判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
hide.tsu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
木曜日 12:00 ~ 14:00					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000013
開設科目名	東アジア比較文化特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	非常勤 講師			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000014
開設科目名	市民社会と市場経済システム特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	塚田 広人			区分	
授業の概要					
<p>市場経済を採用している諸国における現状と問題点を考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民社会の基礎的構造の検討 ・現時点の市場経済の基本構造としての福祉国家の現状と問題点の検討 					
授業の一般目標					
<p>市場経済を採用している諸国における現状と問題点を考察し、理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民社会の基礎的構造の検討 ・現時点の市場経済の基本構造としての福祉国家の現状と問題点の検討 					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席と期末レポートにより評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
経済学部 A 東 4 階 404 号室 電話:083-933-5558 E mail: ht@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
原則として、水曜日 1 時半～3 時(他の時間も在室時は相談可)					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000015
開設科目名	制度動態特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	植村 高久			区分	
授業の概要					
制度論経済学の基礎的な理論を読む。					
授業の一般目標					
制度論的な思考法を身につけ、様々な研究に応用できる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 制度論の基本的な用語を理解でき、自分でも使用できる。					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000016
開設科目名	計量経済分析特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	野村 淳一			区分	
授業の概要					
計量経済分析の応用範囲は、今日広範囲に広がっており、先端的な分野における分析ツールを短期間に全てカバーすることは不可能である。したがって本講義では受講生の専攻分野でよく用いられる手法に集中し、その理論と応用方法について解説する。					
授業の一般目標					
計量経済分析の先端的な分野の理論を習得し、現実のデータへ応用する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 基本的な計量経済学の理論を理解している。					
思考・判断の観点: 現実の経済現象を理論的に考察し、政策や外的ショックの効果を判断できる。					
計量経済学の手法を正しく適用し、結果を判断できる。					
関心・意欲の観点: 発表資料を効果的に作成し、明快な発表ができる。					
統計データを正しく処理し、形式的にも十分に整った報告書・論文が作成できる。					
成績評価方法(総合)					
課題レポートで判定する。評価割合は100%。出席は欠格条件。					
教科書					
Econometric Analysis 5th ed / William H. Greene:US Imports & PHIPs, 2002					
参考書					
メッセージ					
レポート作成に必要なワープロソフトの知識を持っていることを前提とする。					
計量分析のためのアプリケーションは講義中に指示・指導する。					
連絡先					
nomuraj1@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
講義中に指示					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000017
開設科目名	経済史系特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	古賀 大介			区分	
授業の概要					
経済史分野のテキストを用いて、輪読する。テキストについては受講者と相談の上決める。					
授業の一般目標					
歴史的視点から、社会経済の本質に迫ることのできる能力を養うことを目的とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告・出席などを総合的に判断して評価					
教科書					
参考書					
メッセージ					
高度な日本語能力を求める。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000018
開設科目名	東アジア社会政策論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	濱島 清史			区分	
授業の概要					
東アジアにおける社会政策を概観する。受講生の希望する地域を比較研究したい。担当者は、現在、東京大学社会科学研究所の科学研究費プロジェクトで、未廣昭教授の下、東アジアの社会福祉、東アジアの高齢者政策といったテーマで、シンガポールを地域研究として担っているところである。その成果も紹介したい。					
授業の一般目標					
東アジアの社会政策に関して、特定の地域を研究し、比較研究し、全体像を明らかにしたい。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レジュメの発表、レポート、出席状況					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000019
開設科目名	東アジア地域統合特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	尹 春志			区分	
授業の概要					
東アジアの地域統合をめぐる種々の論点を取り扱う。					
授業の一般目標					
東アジアの地域統合について理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告の内容と討論のレベルで総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000020
開設科目名	韓国経済特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	横田 伸子			区分	
授業の概要					
日本と韓国の労働社会経済に関する代表的文献を輪読し、討論を行う。					
授業の一般目標					
日本と韓国の労働社会経済に関する代表的研究文献を精読し、討論することによってその内容を正確に把握し、博士学位論文の作成に役立てる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 日本と韓国の労働社会経済に関する代表的研究文献の内容を正確に理解できる。					
思考・判断の観点: 日本と韓国の労働社会経済に関する代表的研究文献から得た知見を、自分の博士学位論文作成に生かすことができる。					
関心・意欲の観点: 日本と韓国の労働社会経済の相違点と共通点を考えながら文献を精読する。					
態度の観点: 自立的かつ主体的に研究ができる。					
技能・表現の観点: 自己の行った考察や理解を論理的に表現できる。					
成績評価方法(総合)					
授業での議論、報告・発表内容を総合的に評価する。					
教科書					
経済危機後の韓国: 成熟に向けての経済・社会的課題 / 奥田聡編著: アジア経済研究所, 2007					
現代の韓国労使関係 / 嶺学編著: 御茶の水書房, 1998					
日本の雇用慣行 / 野村正實: ミネルヴァ書房, 2007					
雇用不安 / 野村正實: 岩波書店, 1998					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
e-mail: ynobuko@yamaguchi-u.ac.jp					
)083 - 933-5559(研究室)					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000021
開設科目名	ジェンダー論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	横田 伸子			区分	
授業の概要					
開発とジェンダーに関する基本的文献を輪読し、討論を行う。					
授業の一般目標					
開発とジェンダーに関する基本的研究文献を精読し、討論することによってその内容を正確に把握し、博士学位論文の作成に役立てる。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 開発とジェンダーに関する基本的研究文献の内容を正確に理解できる。					
思考・判断の観点: 開発とジェンダーに関する代表的研究文献から得た知見を、自分の博士学位論文作成に生かすことができる。					
関心・意欲の観点: 「ジェンダーの視角」から、意識的に開発政策をとらえなおす。					
態度の観点: 自立的かつ主体的に研究ができる。					
技能・表現の観点: 自己の行った考察や理解を論理的に表現できる。					
成績評価方法(総合)					
授業での議論、報告・発表内容を総合的に評価する。					
教科書					
開発とジェンダー / 大沢真理: 東京国際協力出版会, 2002					
男女共同参画社会を作る / 大沢真理: NHK ブックス, 2002					
現代日本の生活保障システム / 大沢真理: 岩波書店, 2007					
企業社会を超えて / 大沢真理: 時事通信社, 1993					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
e-mail)ynobuko@yamaguchi-u.ac.jp					
)083 - 933-5559(研究室)					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000022
開設科目名	東アジア社会経済論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	李 海峰			区分	
授業の概要					
東アジア社会経済と国際経済を理論的に、実証的に考察、検討します、					
授業の一般目標					
東アジア社会経済の研究において、理論的に、実証的方法論をマスターさせることを目標とする。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業態度・授業への参加度、レポートなど					
教科書					
参考書					
メッセージ					
高い研究水準を目指して、研究の道を探求しましょう。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000023
開設科目名	東アジア環境協力政策論特別講義			単位	2 単位
対象学生				学年	~
担当教員	陳 禮俊			区分	
授業の概要					
<p>18 世紀の産業革命以来、ヨーロッパを中心とした工業先進国は技術革新によって、工業生産性の向上を可能にし、驚異的な経済発展をもたらした。この産業革命は伝統的な自給自足の農業社会を、財貨に対する需要拡大を引き起こした工業化社会へと変換させ、人々に多大な富と豊かな生活様式を可能にした。それゆえ、発展途上国にとって、工業化は経済発展を加速させ、生活水準を向上させるために、最も有効な手段の一つだと考えられている。しかしながら、多くの発展途上国では、工業化過程の離陸段階では、環境保全のための政策的努力はしばしば無視され、キャッチアップを優先する産業政策は、汚染集約型化学工業を優先して推進されるために、社会資本では産業基盤を優先して、生活基盤を軽視する傾向にある。環境への配慮を欠いたまま進められた急速な工業化や面的開発は、様々な公害・環境問題を引き起こした。一方、地球規模の環境問題の拡大に伴って、国際協力による緩和への道を探ることは人類共通の課題になりつつある。特に、地球温暖化問題に関する国際的取組みは、科学的知見の集積をふまえて、1980 年代に国際政治問題化して以来、集約的に行なわれてきたが、発展途上国の義務に関しては、なかなか合意が得られない。しかしながら、今後、発展途上国、特にアジア地域が急速な経済発展に伴う二酸化炭素の排出量を急増させると予想されることから考えても、途上国も、「持続的な開発を損なわない範囲で、地球温暖化の抑制に向けて努力しなければならない。</p>					
授業の一般目標					
<p>本授業は「気候変動」に関する国際環境保全の政策を中心に論ずることにしたい。そのねらいは、受講者における「国際公民」の意識と義務を認識させると共に、国際環境保全の重要性をアピールする。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>成績評価は基本的に、出席(40%)、報告(60%)で行う。ただし、合格基準点に達していない受講者に対して、救済措置として課題レポートを要求する場合があります。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
<p>研究室: 経済学部 A 棟 電話: 083-933-5526 E-mail: lichun@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000024
開設科目名	情報学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	成富 敬			区分	
授業の概要					
研究領域に関連する情報学の分野について講義及びディスカッションをおこなう。					
授業の一般目標					
研究領域に関連する情報学の分野について知識を習得し、ディスカッションをおこなうことができる。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、内容の理解度、ディスカッション内容等により総合的に判断する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000025
開設科目名	現代企業ファイナンス特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	城下 賢吾			区分	
授業の概要					
日本の株式市場と行動ファイナンスの実証分析の方法について講義する					
授業の一般目標					
日本の株式市場の理解と行動ファイナンスの実証分析方法について講義する					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
研究報告とレポート					
教科書					
株式市場と投資行動(仮題) / 城下賢吾・森保洋: 中央経済社					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000026
開設科目名	原価計算論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	中田 範夫			区分	
授業の概要					
原価計算の役割の一つは、原価管理である。伝統的な原価計算ではコスト・コントロール(原価統制)に対して標準原価計算が適用される(原価維持局面)。これに対して、活動基準原価計算は原価改善局面に対して適用される原価計算である。講義では、原価改善を目的とする活動基準原価計算について学ぶ。					
授業の一般目標					
活動基準原価計算は伝統的原価計算方法や伝統的財務会計の欠陥を解消するために生み出されて原価計算手法である。カプランとクーパーが提案したといわれるこの原価計算方法の特質ならびに適用について学ぶことが目標である。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
出席、報告、授業への参加度で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000027
開設科目名	企業経営特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	長谷川 光圀			区分	
授業の概要					
企業組織の問題					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
知識・理解の観点:組織の専門的分析					
思考・判断の観点:専門的分析力					
成績評価方法(総合)					
レポート、出席					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000028
開設科目名	リスクマネジメント特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	石田 成則			区分	
授業の概要					
<p>リスク・マネジメントの概念と手法を整理したうえで、製造物責任や公害補償責任を取り上げ、それに対応する保険システムとリスク・マネジメント手法の具体的な活用について学習する。また、事業活動リスクについて整理したうえで、ART(保険代替手段)、金融再保険、ファイナイト保険、そして債権流動化のための保険スキームについて学習する。応用例として、国際プロジェクト・ビジネスにおけるリスク管理問題を取り上げる。</p>					
授業の一般目標					
<p>主に事業経営に伴うリスクを理解するとともに、そのリスクを計量的に把握できる各種手法を習得する。また、プロジェクト・リスク管理やフィナンシャル・リスク管理のあり方にも精通し、製造業や金融機関に於いて、リスク・マネージャーとなりうる実践的な能力の取得を目指す。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:リスクマネジメント手法などの理解 思考・判断の観点:リスクマネジメントの思考方法</p>					
成績評価方法(総合)					
レポートと平常点					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000029
開設科目名	マーケティング戦略特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	米谷 雅之			区分	
授業の概要					
<p>多くの企業はつくったモノが期待通りに売れていかないという「販売の困難」にしばしば直面する。如何に大きな企業であっても、如何に優れた技術を開発できたとしても、商品やサービスが販売され、収益をうまなければ意味がないし、そのような事態が続けば、企業にとって命取りにもなりかねない。販売の過程が商品の「命懸けでの飛躍」の過程と呼ばれるのはそのためである。そのためには「マーケティング」に軸足を置いた経営が求められ、企業の市場対応、競争対応、流通対応が問われることになる。この講義は、企業が如何にして売れるしくみを創造し、持続的な競争優位の確立に鎬を削っているかについて、特に製品戦略の形成と展開に注力しながら検討する。</p> <p>上記のような一般的視点に立ちながらも、この授業が博士後期課程の授業であることを勘案して、できるだけ受講生の論文作成に資するような方法で進めたいと考えている。</p>					
授業の一般目標					
この授業は受講者が次のような点について理解し、説明できるようにすることを目指す。					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「販売の困難」の内実、および企業が抱える市場問題について説明することができる。 2. 企業と市場の相互作用を理解し、マーケティング戦略がもつ固有の戦略空間を識別することができる。 3. 企業の市場ポジションに留意しながら、市場対応、競争対応、流通対応の仕組と方法について説明することができる。 4. マーケティング戦略の体系について説明することができる。 5. マーケティングおよびマーケティング戦略のダイナミクスを理解する。 					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
期末試験あるいは期末レポートの成績を中心に、授業へのコミット度等を総合的に判断して評価する。					
教科書					
参考書					
<p>マーケティング・マネジメント / コトラー：ピアソン・エデュケーション</p> <p>ゼミナール マーケティング入門 / 石井淳蔵他：日本経済新聞社，2004</p> <p>現代製品戦略論 / 米谷雅之：千倉書房，2001</p>					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

履修期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000030
履修科目名	財務会計特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	松浦 良行			区分	
授業の概要					
本講義は、当研究科において主として企業間のパフォーマンスを行うことを予定している学生が、会計基準の相違を理解し、それを前提として財務数値の比較に当たっての修正法などを把握するために必要な知識を講義する。					
授業の一般目標					
東アジア主要各国の会計基準の現状と、財務分析の基礎的な手法を把握したうえで、自身の論文における仮説検証プロセスにおける財務数値比較に役立てることが出来るようになることを目的とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: ・主としてアジア圏の会計基準の相違点を比較検討し、説明できる。					
・関心のある財務分析手法の重要性を、論文における分析の文脈で説明できる。					
思考・判断の観点: ・自身の論文作成における仮説の論証のための会計基準比較の位置づけを説明できる。					
関心・意欲の観点: ・自分自身で理解したい内容を提示できる。					
態度の観点: ・毎回出席し、報告を行う。					
成績評価方法(総合)					
講義への参加度と報告内容に基づいて評価する。欠席は欠格条件とする。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
吉田キャンパスには週に一回しかいないので、履修希望者は事前にメールで相談されたい。					
連絡先					
matu@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
毎週木曜日の10時から12時まで。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000031
開設科目名	市場経済と雇用システム特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	柳澤 旭			区分	
授業の概要					
労働市場と雇用関係法との関係を検討する。					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
知識・理解の観点:雇用関係法と市場経済の論理を法的に理解すること。					
成績評価方法(総合)					
教科書					
未定					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000032
開設科目名	メディア法とメディア論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	立山 紘毅			区分	
授業の概要					
情報法学の講義および演習を行う。					
授業の一般目標					
<p>ひとことに比べて「情報化社会」「情報化時代」という言葉が人々の耳目を引くことは少なくなったが、これは逆に日々の生活が全面的に情報化されたことを意味する。その中であって、立法・司法・行政、さらには法律学の常として、これら社会の変化に対する対応は緩慢に過ぎるばかりか失当とさえ評価するほかにないものも多々存在する。</p> <p>この講義は、世間での種々の議論から一歩離れて厳正な立場から、情報化による法の全般的な変容について考察する糸口を提供するだけでなく、きたるべき論文執筆に備えて、より高度の専門的知識を習得し、これを適確に表現する能力を身につけることを目的とする。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:・情報化の現状に対する基礎的知識(理工学的基礎知識を含む)</p> <p>・法学の「再入門」から高度の専門的判断能力の涵養へ</p> <p>思考・判断の観点:・日々の生活の中で展開する情報化の諸側面を適確に認識すること</p> <p>・情報化社会の諸側面にあらわれた法現象を理解し、分析すること</p> <p>関心・意欲の観点:自分の興味・関心・将来の専門に即した問題意識と同時に、必ずしも得意ではない・これまで関心をもってこなかった分野や角度からの問題発見</p> <p>態度の観点:旺盛な知的好奇心</p> <p>技能・表現の観点:口頭・文書による正確・簡潔な日本語表現</p>					
成績評価方法(総合)					
講義を通じての出席状況と姿勢を中心として評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
tateyama@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					
特に定めていないので、上記のメールにて連絡の上、適宜相談されたい。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000033
開設科目名	政治論研究特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	渡邊 幹雄			区分	
授業の概要					
政治とはなにか。人間の生活において、政治という営みはどのような意味をもつのか、を平明に説明してゆく。政治を学問的に理解することをめざしますので、新聞紙面で学習できるようなことについて講義する予定はありません。政治家になれるとか、次はだれが総理大臣になるとか、次の選挙ではどの政党が勝つか、そのような知識を期待している人には向かない授業です。					
授業の一般目標					
人間にとって政治とはなんなのか。政治を学問的に考えるとどのようなことなのかを理解できるようにすることが、この授業の一般的な目標です。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
成績はすべて期末試験によって決定します。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					
授業終了後の一定時間ならば、いつでも結構です。					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000034
開設科目名	行政法特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	石 龍潭			区分	
授業の概要					
<p>修士課程での問題意識をさらに発展させ、行政法に関するより具体的な問題点を検討していく。具体的問題の検討を通して、行政法の重要な制度の理解を深めるとともに、問題の解決を自分で考え、それを表現する能力を養う。</p> <p>したがって、これまで履修した講義、演習などによる知識を習得・理解していること、講義への主体的な参加が要求される。</p>					
授業の一般目標					
<p>具体的な事例に対して、行政法学の見地から説明・分析する知識や能力を身につけてもらいたい。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポート、出席による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
日々のニュースに敏感であって欲しい。					
連絡先					
<p>質問等のある学生は、気軽に私の研究室に来てください。</p> <p>(研究室:経済学部A棟408室)</p>					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000035
開設科目名	東アジア経済・経営・法律特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	藤原 貞雄			区分	
授業の概要					
<p>中国の大衆消費社会化と中国自動車産業との関係を講義します。</p> <p>中国は今や世界一の自動車生産国になっています。また自動車保有台数も数年内には1億台を超えます。それにとまって道路渋滞、交通事故、環境汚染といった問題も更に深刻になります。</p> <p>また自動車ローンによる購入も増加したことによって、ローンの利用や返済をめぐるこれまでにない消費者問題も増加しつつあります。こうした問題は中国がこれまでに経験していない新しい問題です。</p> <p>また根本的な問題として、化石燃料が近い将来枯渇することが予想されますから、これまでにない新たな燃料をエネルギーとする自動車や低燃費の自動車が不可欠となり、新時代車の開発普及が社会的に要請されています。</p> <p>さらに高速鉄道や地下鉄などの公共交通機関を急速に広めない限り、中国国民が豊かな消費社会をじゅうぶんに享受できませんから、自家用自動車と公共交通機関のバランスのとれた発展政策が必要なことはいうまでもありません。</p> <p>講義では学生諸君の研究課題に沿って以上のような問題を検討する予定です。</p>					
授業の一般目標					
高度化する中国大衆消費社会における自動車政策と自動車産業政策に関する研究課題と研究方法について正確な理解を得ることを一般目標とする。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点:最も重視する。					
成績評価方法(総合)					
研究報告レポートによって評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000036
開設科目名	東アジア経済・経営・法律特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	非常勤 講師			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000037
開設科目名	社会システム分析特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	酒井 義郎			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000038
開設科目名	東アジア地球科学分析特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	永尾 隆志			区分	
授業の概要					
地球の歴史の中でさまざまな時代に形成された東アジアの地形と地質について解説する。					
授業の一般目標					
東アジアの地形と地質をつくりあげたテクトニクス、日本列島とアジア大陸の地球科学的な関連を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 東アジアの地形・地質の発達プロセス、それを形づくった地球のダイナミクスを理解することができる。					
思考・判断の観点: 地形・地質現象から東アジアの発達過程を組み立てることができる。					
成績評価方法(総合)					
期末試験・レポートを以下の観点で評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
理学部 340 号室 e-mail tnagao@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000039
開設科目名	国語教育論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	藤原 マリ子			区分	
授業の概要					
各自の研究テーマに即して、国語科教育に関連する支援を行う。					
授業の一般目標					
国語科教育との関連において、各自の研究テーマの深化を図る。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 研究テーマに関連した先行文献を通読し、理解している。					
思考・判断の観点: 研究テーマにおける未解決の問題点や今後の課題を指摘することができる。					
関心・意欲の観点: 研究に対して強い意欲を持って取り組むことができる。					
態度の観点: 先行文献を読んだ上で、独自の見解を構築しようと努めることができる。					
技能・表現の観点: 自己の見解を論理的に、かつ的確に表現することができる。					
成績評価方法(総合)					
授業での発表内容に基づき評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000040
開設科目名	日本近世地域社会論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	森下 徹			区分	
授業の概要					
近世地域史に関する近年の議論を学ぶ					
授業の一般目標					
近世地域史を理解すること					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告内容による					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000041
開設科目名	美術教育論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	福田 隆眞			区分	
授業の概要					
日本、中国、台湾、シンガポール、マレーシアの美術と美術教育について講義する。					
授業の一般目標					
アジアの美術教育課程について理解する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
レポートと問題発見能力					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000042
開設科目名	教育哲学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	西村 正登			区分	
授業の概要					
<p>シュプランガーの教育哲学と教員養成論について講義する。シュプランガーはドイツの20世紀を代表する哲学者・教育学者であるが、まずは彼の生涯を概観した上で、1920年に『教員養成論』が書かれた当時のワイマール共和国の時代背景を学ぶ。次に彼の教育哲学を基盤にした『教員養成論』を読み解きながら、それを近代ドイツ教員養成史の中に位置づけ、その今日的意義と課題について考察する。</p>					
授業の一般目標					
<p>(1)シュプランガーの教育哲学を構成する基礎理論が理解できる。 (2)シュプランガーの生涯と『教員養成論』が書かれた1920年当時の時代背景が理解できる。 (3)シュプランガーの教育哲学を基盤にして、『教員養成論』の内容が理解できる。 (4)シュプランガーとベッカーの往復書簡を読み解きながら、2人の人間関係の変化が理解できる。 (5)シュプランガーの教員養成論を近代ドイツ教員養成史の中に位置づけながら、その今日的意義と課題を考察できる。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点:1.シュプランガーの教育哲学を構成する基礎理論が説明できる。 2.シュプランガーの生涯と『教員養成論』が書かれた1920年当時の時代背景が説明できる。 3.シュプランガーの教育哲学を基盤にして、『教員養成論』内容が説明できる。 4.シュプランガーとベッカーの往復書簡を読み解きながら、2人の人間関係の変化が説明できる。</p> <p>思考・判断の観点:1.シュプランガーの教員養成論を近代ドイツ教員養成史の中に位置づけながら、その今日的意義と課題を考察できる。</p> <p>関心・意欲の観点:1.シュプランガーの教員養成論を基盤にして、現代ドイツの教員養成と日本の教員養成を比較しながら、今後の教員養成についての関心・意欲を高めることができる。</p> <p>態度の観点:1.現代ドイツの教員養成と日本の教員養成を比較しながら、今後の教員養成改革への視点を学び、教員養成・教員採用・教員研修を含めた教師教育の在り方について考察する態度を養うことができる。</p> <p>技能・表現の観点:1.シュプランガーの教員養成論や教員養成改革への視点を教育実習や学校での教育に活用し、実践できる。</p>					
成績評価方法(総合)					
<p>毎時間受講生がレジュメにまとめて発表する内容と授業への出席状況を総合的に判断して評価する。定期試験は実施しない。</p>					
教科書					
<p>シュプランガーの教員養成論と教師教育の課題 / 西村正登・風間書房, 2008</p>					
参考書					
メッセージ					
<p>シュプランガーの教員養成論が、ドイツの時代状況に応じてどのように変化し、今日のドイツ教員養成にどのような功罪を残したかを学び、考察して下さい。</p>					
連絡先					
<p>教育学部・教育哲学研究室 内線: 5450 メールアドレス: masaton@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					
<p>金曜日 12時～12時50分</p>					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000043
開設科目名	臨床心理学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	名島 潤慈			区分	
授業の概要					
夢やイメージ(絵を含む)が臨床心理学において果たす役割、夢やイメージの持つ治療的な機能などについて考究する。そのさい、東洋と西洋における違いについても考察する。					
授業の一般目標					
夢分析やイメージ療法の基礎的な知識と技法を学んでもらう。また、夢やイメージを用いた心理療法の事例の検討を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 夢やイメージについて深く理解できる。					
思考・判断の観点: 夢やイメージがどのようなものであるかということに関して的確に思考し判断できる。					
関心・意欲の観点: 夢やイメージが果たす役割や機能について、意欲的に考究できる。					
態度の観点: 真面目に授業に出席して、積極的に発言できる。					
技能・表現の観点: 基礎的な夢分析やイメージ分析を行うことができる。					
成績評価方法(総合)					
成績評価は基本的に、レポート、出席、授業における発言内容(例えば、論理的なディスカッションが可能であるような内容かどうか)による。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
夢やイメージの広大な世界を通して、人間の心というものを深く探求してみたいと思います。絵や映像の世界にも触れてみたいと思います。					
連絡先					
najima@yamaguchi-u.ac.jp 083-933-5465					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000044
開設科目名	情報システム論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	葛 崎偉			区分	
授業の概要					
情報システムの設計や構築に関わる数理・システム科学的方法論について論じる。特にネット理論に基づいたモデル化と性能評価の考え方および解析手法などに焦点を当て取り上げる。					
授業の一般目標					
情報システムに関する概念や知識や考え方を学び、システムの設計・構築を行うための方法論を取得する。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
授業内外のレポートを中心に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000045
開設科目名	東アジア教育開発特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	非常勤 講師			区分	
授業の概要					
授業の一般目標					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000046
開設科目名	中国東北経済構造論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	陳 建平			区分	
授業の概要					
中国は国土広大であり、かつ地域間格差は甚だしく、しかも中央政府が格差拡大を容認する政策を採用したため、現在看過できない地域間格差問題に直面している。本講義においては中国の地域格差拡大仮説を、遼寧省、吉林省、黒竜江省からなる中国東北地方の現地調査及び数量分析を通して確認する。さらに、中国東北地方のおかれている国際環境の分析を行い、北東アジアあるいは環日本海経済圏という視野から、日本、韓国、ロシアとの協調・協力関係を考察し、日本が果たすべき役割を提起する。					
授業の一般目標					
中国における地域的経済格差の現状と成因を理解し、中国東北地域経済の再起について考える。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
報告発表と期末レポートを総合して評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000047
開設科目名	東アジア経済発展論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	～
担当教員	玉村 千治			区分	
授業の概要					
<p>東アジア(特にアセアンと中国)における貿易・投資を通じた経済発展と産業連関を概括し、現在進捗する FTA の意味と実態を把握します。東アジアで進捗する事実上の経済統合は、各国間の経済格差を利用して進展したものであるため、その格差の実態も概括することになります。</p> <p>前者に関しては、用意された文献に基づき講義が中心となります。ここでは国際経済の相互依存を知るために、貿易統計分析および簡単な産業連関分析を紹介し、実習もおこないます。</p> <p>後者に関しては、経済格差の観点から後発アセアン諸国(CLMV 諸国)に着目し、その経済社会の現状を把握します。こちらで用意する文献の輪読により相互の理解を含めるようにし、適宜必要な解説を加えます。</p> <p>以上により、東アジアの経済発展の様相と経済格差の現状を認識することが本授業の狙いです。</p>					
授業の一般目標					
<p>東アジア(特にアセアンと中国)における貿易・投資を通じた経済発展の状況を理解すること。それを踏まえ、現在進捗する FTA の意味と実態を把握。国際経済の相互依存を知るために、貿易統計分析および簡単な産業連関分析の習得。</p> <p>東アジアにおける経済格差の観点から後発 ASEAN 諸国(カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム = CLMV 諸国)に着目し、その経済発展の現状を把握。</p>					
授業の到達目標					
<p>知識・理解の観点: 東アジアの経済相互依存の実態を把握すること。 経済体系を知るために産業連関分析の基礎知識を習得すること。 後発アセアンの経済社会の現状を把握すること。</p> <p>思考・判断の観点: 東アジアの経済発展のあり方を特に経済格差の観点から考察。 その中で、FTA がどのような意味を持つかも考察してみる。</p> <p>関心・意欲の観点: 数量分析に関心を促す。後発アセアンにも視野を広げる。</p> <p>態度の観点: 一般に少数クラスになるので、自由な意見交換をすることによって授業を進める。</p>					
成績評価方法(総合)					
演習の理解度と割り当てられた輪読文献のまとめと報告。(試験は実施しない。)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>これまでの経験から、自由な意見交換・質疑応答を通じて大変和やかな雰囲気です。この分野に関心のある学生はぜひ参加下さい。また、数量分析を敬遠しがちですが、丁寧に解説いたしますので心配は不要です。</p>					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000054
開設科目名	コミュニケーション中国語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	何 暁毅			区分	
授業の概要					
<p>東アジアで言えば日本や、韓国、モンゴル、そして何より中国です。その中国はいま何が起きているのか、これからどう変わろうとしているのか、どうしても気になります。しかし、中国のことを知ろうとすると、言葉の問題を解決しなければなりません。この授業はその言葉問題を解決するきっかけを作る。</p>					
授業の一般目標					
<p>中国語コミュニケーション能力を高めることを第一の目標に、言葉の背景として、中国の文化や、社会も紹介し、理解を深める。</p>					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
<p>出席などで総合評価する。</p>					
教科書					
参考書					
メッセージ					
<p>中国の事ならなんでも(?)相談してください。難しい学問の話はさておいて、中国のお茶や、中華料理など中国語及び中国文化に興味ある人、集まって下さい。</p>					
連絡先					
<p>研究室 共通教育棟3F hexiaoyi@yamaguchi-u.ac.jp</p>					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000055
開設科目名	コミュニケーション・ハングル			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	和田 学			区分	
授業の概要					
韓国語の基礎を学びます。					
授業の一般目標					
韓国語の基礎を学び、簡単な文が作れるようにします。					
授業の到達目標					
成績評価方法(総合)					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000056
開設科目名	コミュニケーション英語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	池園 宏			区分	
授業の概要					
英語によるコミュニケーション能力を養成する。授業は全て英語で行う。基本的にはテキストのタスクを中心に授業を進めるが、受講者のレベルやニーズに応じて臨機応変に内容を変更・調整することもある。					
授業の一般目標					
(1)英語の四技能をバランス良く習得する。 (2)母国語を介さず、英語で理解し、考え、発言する姿勢を体得する。 (3)基本的な会話表現や文法事項を理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: (1)提示された課題を理解し、自己の考えを英語で説明できる。 (2)英語の文法事項が理解できる。					
思考・判断の観点: (1)的確な状況判断に基づいて、諸場面に即した英語表現を選択できる。					
関心・意欲の観点: (1)英語で積極的に自己表現することに関心を持つ。					
態度の観点: (1)常に問題意識を持ってディスカッションに参加できる。					
成績評価方法(総合)					
(1)試験は期末に一回実施する。 (2)出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。					
教科書					
Passages 2 / ,Jack C. Richards & Chuck Sandy: Cambridge UP , 2000					
参考書					
メッセージ					
単位取得を前提条件として受講を許可する。受講者は無断で欠席や遅刻をしないこと。					
連絡先					
メール: ikezono@yamaguchi-u.ac.jp 研究室: 人文学部6階					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000057
開設科目名	コミュニケーション日本語			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	林 伸一			区分	

授業の概要

授業の概要

大学院での研究に必要な日本語の知識について確認する。特に、研究発表、研究論文に必要な語句、表現などメタ言語に関する理解を深める。

授業の一般目標

実際の研究論文を素材にして、日本語としてのわかりやすさ、一貫性、説得力などについて検討する。

授業の到達目標

知識・理解の観点:

専門的な内容についての日本語の知識・理解を深める

思考・判断の観点:

一貫性のある思考と適切な日本語表現について考える

関心・意欲の観点:

専門的なテーマに関する関心と研究に関する意欲を育てる

態度の観点:

まじめに自分のテーマに向き合い、謙虚にアドバイスを受け入れる柔軟な態度を養う

技能・表現の観点:

日本語で説得力のある発表ができる技能と能力を身に付ける

授業計画(概要・授業の目標(予定))

専門的な研究を進めていくために必要な日本語の力を身につける

成績評価方法(総合)

授業での発表、表現力、資料の準備、参加態度で評価する

成績評価方法(観点別)

知識・理解 思考・判断 関心・意欲 態度 技能・表現 その他 評価割合(%) JABEE 収集資料

定期試験(中間・期末試験) 評価に加えず

小テスト・授業内レポート 20%

宿題・授業外レポート 20%

授業態度・授業への参加度 20%

受講者の発表(プレゼン)・授業内での制作作品 20%

演習 10%

出席 10%

その他 評価に加えず

合計 100% 0%

教科書 教科書備考:プリント配布

参考書

メッセージ 日本語でのコミュニケーションを大事にしよう

連絡先・オフィスアワー 木曜 10時30分~12時 hayashix@yamaguchi-u.ac.jp

キーワード 発表力、表現力、文章力、読解力

授業の一般目標

授業の到達目標

成績評価方法(総合)

教科書
参考書
メッセージ
連絡先
オフィスアワー

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000058
開設科目名	エスニシティ論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	朝水 宗彦			区分	
授業の概要					
エスニシティあるいはエスニック関連の研究対象は多様である。なおかつエスニシティ研究は文化人類学や社会学、地理学など、様々なディシプリンにおいて行われている。エスニシティに関する概念もまた「旧大陸」と「新大陸」で異なっており、なおかつ時代と共に変化してきた。					
授業の一般目標					
当授業では、第一段階として、エスニシティに関する多様性について先行研究から学ぶ。第二段階では現代起こっている社会問題を中心に、各自が関心を持った事例に対して応用的な研究を行う。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: テキストやプリントで扱った先行研究を十分理解する。					
思考・判断の観点: 異なった地域や時代、ディシプリンに対し、自分なりに比較研究を行う。					
関心・意欲の観点: 関心を持った事象に対し、十分な文献や資料を用いながら分析を行う。					
態度の観点: 課題の担当時に無断欠席しない。					
技能・表現の観点: 調査した事象を簡潔にまとめる。					
成績評価方法(総合)					
期末課題 70%、中間課題 15%、出席 15% で評価する。					
教科書					
多文化社会オーストラリアにおけるエスニック・ツーリズム形成過程に関する研究 / 朝水宗彦: くみぶる, 2001					
参考書					
オーストラリアのマイノリティ研究 / 早稲田大学オーストラリア研究所編: オセアニア出版社, 2005					
オーストラリアの観光と食文化 / 朝水宗彦: 学文社, 2003					
オーストラリアのエスニシティ / 朝水宗彦: 文芸社, 2000					
Global Mobility / Munehiko ASAMIZU ed.: Kumpul, 2008					
Japan's Globalization / Ikuo KAWAKAMI et al.: Kumpul, 2007					
メッセージ					
配布物が多いのでA4サイズのファイルを持参すること。					
連絡先					
オフィスアワー					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000059
開設科目名	国際理解教育論特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	石井 由理			区分	
授業の概要					
国際理解教育という概念の誕生と変遷およびその社会的な背景について、国内外の様々な文献の講読と討議を通して理解を深める。					
授業の一般目標					
国際理解教育という概念が常にその時代や国の価値観を反映して変化していることを理解する。					
国際理解教育がどのように学校教育課程に取り入れられているかを理解する。					
授業の到達目標					
知識・理解の観点: 国際理解教育という概念が常にその時代や国の価値観を反映して変化していることを理解する。					
国際理解教育がどのように学校教育課程に取り入れられているかを理解する。					
思考・判断の観点: 国際理解教育と国際社会および各国社会の価値観について自分なりの考えを形成できる。					
関心・意欲の観点: 疑問に思ったこと、関心をもったことを、指定された文献以外を用いて調査する意欲をもつ。					
技能・表現の観点: 国際理解教育とその変遷、学校教育課程にみられる国際理解教育に関する自分の意見を明確に他者に伝えることができる。					
成績評価方法(総合)					
文献に関する授業中の発表および期末のレポートによる。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
教育学部200 - 1研究室					
オフィスアワー					
初回授業時に指示					

開設期	前期	曜日時限	未定	時間割コード	5034000060
開設科目名	社会言語学特別講義			単位	2単位
対象学生				学年	~
担当教員	有元 光彦			区分	
授業の概要					
言語社会を構成するメンバー個人の言語システム,それが集合することによって形成される社会的な言語システム,そしてそれらのインターフェイスを,それぞれ分析することを通して,言語社会システムの本質を解明していく。					
授業の一般目標					
(1)社会言語システムを記述する。 (2)未知の言語現象を意欲的に解明する。					
授業の到達目標					
思考・判断の観点: (1)社会言語学に関する高度な知識を駆使して,社会言語システムを記述する。					
関心・意欲の観点: (1)未知の言語現象を意欲的・継続的に解明する。					
成績評価方法(総合)					
プレゼンテーションの内容・方法等について総合的に評価する。					
教科書					
参考書					
メッセージ					
連絡先					
arimoto@yamaguchi-u.ac.jp					
オフィスアワー					